サンキョウだより【11月号】

立冬を迎え、朝夕の冷たい風が身に染みる季節となりました。
皆様、いかがお過ごしでしょうか。
環境NEWSLETTER「サンキョウだより」では、より良い情報を提供して参りますので変わらずご愛顧の程、宜しくお願い申し上げます。

国内ニュース

事業関連

広島県の火力発電所、新型に改修へ　環境大臣意見「確実にCO2削減を」

環境省は11月9日、瀬戸内共同火力（広島県福山市）が提出した「福山共同発電所更新計画環境影響評価準備書」に対する環境大臣意見を経済産業大臣に提出しました。

この福山共同発電所更新計画事業は、JFEスチール（東京都千代田区）の西日本製鉄所敷地内（広島県福山市）にある火力発電所の老朽化した既設2・3号機（計23.1万kW）を廃止し、新2号機（計23万kW）に更新するものです。

発電設備は、製鉄所から発生する副生ガスを燃焼放散せずに有効利用する発電設備で、高効率のコンバインドサイクル発電方式（ガスタービンと蒸気タービンを組み合わせた二重の発電方式）の採用や大気汚染物質の排出抑制装置の設置などにより、二酸化炭素などの排出を低減するとのことです。

低圧の太陽光発電、資源エネ庁からのお願い　みなし認定は電子申請で

経済産業省　資源エネルギー庁は、固定価格買取制度（改正FIT法）における、新制度への移行手続（みなし認定手続）が完了していない10kW未満の太陽光発電事業者が、今年度中の変更手続を希望する場合の注意点をまとめ、公表しました。

電子申請で速やかに手続きを！

旧制度において認定を取得した事業者は、原則としてみなし認定手続完了後に変更手続を行うよう現在案内しています。これに該当する10kW未満太陽光発電設備のみなし認定手続の締め切りは2017年12月31日です。

太陽光発電パネルの損害保険調査でもドローン活用　効率化・正確化へ

三井住友海上火災保険（東京都千代田区）は、広範囲にわたる太陽光発電パネルなどの損害確認について、ドローン（無人航空機）を活用した損害調査を11月1日から本格的に開始しました。

これにより、太陽光発電パネルの調査のほか、立ち入り困難な事故現場などの損害調査で、ドローンで空撮した映像や写真により、これまで以上に正確な損害状況の把握や情報収集が可能となります。

また、太陽光発電パネルなどの損害確認には、サーモセンサーを積載したドローンを活用することで、効率的な損害調査を行います。迅速で適切な保険金の支払いを実現し差別化も図るそうです。

太陽光発電の「リースバック型」投資、新たに募集開始　68,000円から

ネクストイノベーション（岡山県玉野市）は、投資者が太陽光発電パネルを購入し、同社にリースバックする方式で産業用太陽光発電に投資できる商品を、10月25日から個人や企業向けに販売開始しました。

これは、同社の産業用太陽光発電投資サービス「ソーラーパワーインベストメント」の「SPI太陽光第17号発電所『福谷高圧発電所』（岡山県総社市）」で使用されている300W多結晶太陽光発電パネルを、1枚当たり68,000円（税込）で販売するものです。

販売された太陽光発電パネルは、同社が再度借り受け（リースバック）、発電事業を運営することで中国電力（広島県広島市）に売電し収入を得ます。パネルに投資した顧客には、太陽光発電パネルの発電実績に応じた売電額の80%が「変動賃料」として支払われます。

法令・補助金関連

グリーン購入法、太陽電池は「環境配慮設計の事前評価」が判断基準に

環境省は11月9日、「国等による環境物品等の調達の推進等に関する法律（グリーン購入法）」に基づく「環境物品等の調達の推進に関する基本方針」の見直しにあたって、2017年度の案を取りまとめました。これにあたり最終的な取りまとめの参考にするため、国民から広く意見を募集しています。募集期間は12月8日までです。

なお、参考資料として、2017年2月に閣議決定した「基本方針」からの主な見直しポイントが公開されています。

たとえば、「照明」分野では蛍光灯照明器具が品目削除されたほか、電球形状のランプについて、蛍光ランプ・LED以外の電球を対象から除外しました。

社員の顔が見えるHP！
絶賛公開中

『新ホームページをご覧ください』

弊社が提供するサービス、環境ニュース環境楽習に関する情報などを提供しております。是非、ご覧ください。

サンキョウの活動

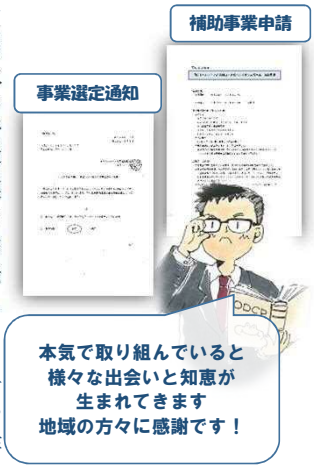
品質・事業

10月号に続き、今月も経営革新計画に伴う、当社の新サービス「健康障害防止リスクアセスメント」を地域で広めるために、どのように展開していくか、どう売り込んでいくかを模索していています。

そんな時、外部の方々から岡山市が推奨する施策に「ヘルケア産業創出事業」があり、当社の事業が「健康経営」を考える上で当てはまる事業とのことでした。

聞いた時はピンとこなかったのですが、非、応募してみては？」と当社の弱い部分に支援して頂けるとのことから薦められるままに応募してみました。結果、支援して頂けるとのこととなりました。（左記参照）

岡山市ヘルスケア産業創出育成ハンズオン補助事業



本気で取り組んでいると様々な出会いと知恵が生まれてきます 地域の方々に感謝です！

【様々な取り組み】

- 経営ビジョン
- 知的資産経営
- 経営力向上計画
- 経営革新計画
- 事業継続計画

障害防止リスクアセスメント」とした職場環境をよくするためのコンサルティング事業です。

職場環境を良くしていくためには、今の環境でよいのか（見える化）、設備は整っているのか（設備改善）、人の教育は出来ているのか（習慣）などに対して診断・助言・改善提案するサービスです。

作業環境における当社の新事業をお伝えします。リスク評価を基本に「健康

環境安全活動

弊社は「地域社会の一員として社会に役立つ活動を推進する」の方針のもと、事業活動のみならず、地域の環境関連活動への参画や清掃活動、ダルマガエル保護を通した生物多様性の保全、環境学習等、様々な地域活動を行っています。

その内の一つであるダルマガエルの保全活動につきまして、その活動内容を知っていただくことで貢献出来ていることの証として「にじゅうまるプロジェクト」へ登録いたしました。

「にじゅうまるプロジェクト」とは、市民団体・企業・自治体等が、自分たちのできることで生物多様性を守るための2030の目標への貢献を宣言し、その達成の為の一つのチームを作り上げるプロジェクトのことです。

弊社は、「中小企業でもできる～地域活動から始める生物多様性～」として、普及活動から始まる生物多様性～生産と消費、化学汚染、種の保全、生産と消費、化学汚染、種の保全、参加型戦略の5つの目標を宣言し、効果的・参加型戦略の5つの目標を宣言し、登録を行いました。

ダルマガエルの保全活動では、地域や企業と・行政等が絶滅危惧種の保全で連携する中小企業単独ではできない活動がたくさんの子どもたちと一緒に行っています。

13年継続できている田植えや稲刈り多面的な機能（食料供給、気候調整、文化・景観、生物多様性）を再認識し、食の安心、地域への関心、生き物への好奇心を感じるきっかけとなっています。

今後も様々な団体と連携して、地域活動を継続・発展させていきたいと思います。

「にじゅうまるプロジェクト」への登録内容は、http://bd20.jp/dantai/detail.php?id=4469をご覧ください。

グリーン活動クラブ＊児島湖清掃

11月5日（日）毎年恒例の『児島湖清掃大作戦』に参加してきました。湖畔や河川敷にはたくさんのゴミがありました。約1時間の清掃でしたが、掃除のやりがい（拾い甲斐）があり、気持ちのよい汗をかきました。

グリーン活動クラブ＊スマート通勤

10月23日（月）～27日（金）に行われた『スマート通勤おかやま』に今年も参加し、社員10名がマイカーから徒歩や自転車に変更して通勤しました。健康増進にもなり、また、普段車で一瞬にして通り抜けてしまう道もゆったりとした時間の流れの中で、季節を感じられたり学生達と挨拶を交わしたりと、楽しい通勤時間となったようです。

この「サンキョウだより」は、皆様方と情報交換や意見交換の場になることを目指して毎月発行しています。是非、ご意見・ご要望・情報等をお寄せ下さい。

発行（株）サンキョウ-エンビックス 「環境NEWS LETTER」編集チーム
〒700-0954 岡山市南区米倉66番地2 TEL(086)242-1035 FAX(086)242-1036